

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人片柳学園		昭和25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111		
目的	コミュニケーション能力、ビジネスマナー、モラルや著作権の知識、一般常識、キャリアガイダンスなどの授業、また現場に近い実践的な実習で、映像メディア人として「基礎力、技術力、人間力」を身に付けることを目標とします。						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養	芸術専門課程		放送・映画科		平成21年文部科学大臣告示第22号	-	
修業年限	昼夜	総授業時数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1980	510	0	1470	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		253 人		5 人	35 人	40 人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏 季:8月3日～9月4日 ■冬 季:12月23日～1月6日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件	進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・Eメール等で連絡することを基本とし、状況に応じて、数日続いた時点で保護者に連絡するなどの指導をしている。			課外活動	■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 株式会社黒澤フィルムスタジオ 株式会社千代田ビデオ 株式会社スーパーバーク 株式会社バスク 株式会社フジアル ■就職率※1 : 94.7 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 94.7 % ■その他 成 26 年度卒業者に関する 平成27年5月1日 時点の情報			主な資格・検定等	ビジネス著作権検定、ビジネス能力検定、映像音響処理技術者、カラーコーディネーター検定、色彩検定、照明技術者技能認定、舞台機構調整技能士、小型フォークリフト運転特別教育、高所作業車特別教育		

中途退学の現状	■中途退学者 9 名 平成26年4月1日 在学者 242 名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 233 名 (平成27年3月31日 卒業者を含む)	■中退率 3.7 %
	■中途退学の主な理由 進路変更(他ジャンルへの進学や就職)、家庭の事情(学費支払困難、家庭環境の変更)	
	■中退防止のための取組 担任と科長による面談。懇談会・電話連絡等による保護者との情報共有。 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。	
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp/	

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

映像制作の基本技術を連携企業の講師から教授してもらうことと映像業界も技術革新の進歩が著しく、業界のスキル標準まで学生の技術力を高めてもらうことを目的とする。また、技術だけではなく実務者である連携企業の講師から学生に対して業界特有の現場意識についても教授してもらうことを目的としている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
渡久山 健	一般社団法人 日本映画テレビ技術協会
松丸 明夫	株式会社レック 代表取締役
井上 公二	株式会社汐留スタジオ 取締役制作部長
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長
佐藤 充	日本工学院八王子専門学校 クリエイターズカレッジ長
前田 大輔	日本工学院八王子専門学校 放送・映画科 科長
石川 祐貴	日本工学院八王子専門学校 放送・映画科 主任
柳川 和彦	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援部 課長

(開催日時)

第1回 平成27年1月19日 17:00～19:00

第2回 平成27年9月11日 16:00～17:30

第3回 平成28年1月 開催予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

映像制作の基本技術を連携企業の講師から教授してもらうことと映像業界も技術革新の進歩が著しく、業界のスキル標準まで学生の技術力を高めてもらうことを目的とする。また、技術だけではなく実務者である連携企業の講師から学生に対して業界特有の現場意識についても教授してもらうことを目的としている。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
放送・映画演習1・2	主にテレビ業界映画業界への就職を達成するための、即戦力たる技術力を習得することが授業の目的である。主に基礎実習との位置づけで照明分野の機材知識と操作技術等を学ぶ	株式会社 テレビ東京アート
放送・映画演習3・4	主にテレビ業界映画業界への就職を達成するための、即戦力たる技術力を習得することが授業の目的である。音声、音響など音に関する基礎から応用まで取得。	株式会社 交音社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

日々進化するテレビ放送業界、映画業界を教える側としてのスキルアップを目指す為、様々なジャンルの企業様、講師、卒業生と不定期で勉強会を行っている。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年9月10日現在

名 前	所 属
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)
金子 英明	セントラルエンジニアリング株式会社グループマネージャー
細谷 幸男	八王子商工会議所事務局長
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社代表取締役
古木 勝紀	株式会社バンパー取締役
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック事務局長
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会事務局長
一瀬 康剛	株式会社アトム精密代表取締役
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会理事長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/](http://www.neec.ac.jp/announcement/8964/)

授業科目等の概要

(芸術専門課程放送・映画科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			一般教養A 1	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1・前	15	1	○							
○			一般教養A 2		1・後	15	1	○							
○			一般教養B 1	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1・前	15	1	○							
○			一般教養B 2		1・後	15	1	○							
○			一般教養C 1	クリエイターに必要な言語、著作権、また基本的なPCソフトなどを学びます。	1・前	15	1	○							
○			一般教養C 2		1・後	15	1	○							
○			キャリアデザイン1	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1・前	15	1	○							
○			キャリアデザイン2		1・後	15	1	○							
○			放送映画リテラシーA 1	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーA 2		1・後	15	1	○							
○			放送映画リテラシーB 1		1・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーB 2		1・後	15	1	○							

授業科目等の概要

(芸術専門課程放送・映画科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			放送映画リテラシーC1	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーC2		1・後	15	1	○							
○			映像技術1	「映画」「テレビ」「個人映像」「美術製作」など映像表現のための基礎知識を学びます。	1・前	30	2	○							
○			映像技術2		1・後	30	2	○							
○			映像制作1	映像鑑賞をすることにより、作品制作のテクニックを学びます。	1・前	30	2	○							
○			映像制作2		1・後	30	2	○							
○			放送映画演習1	各コースやテーマ別に実習を通して映像制作の基礎を修得する。	1・前	240	8		△	○					
○			放送映画演習2		1・後	240	8		△	○					
○			番組制作1	「作品を作る」という目的で、実践的に映像制作を学びます。	1・前	60	2			○					
○			番組制作2		1・後	60	2			○					
		○	ワークショップ1	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1・前	30	1			○					
		○	ワークショップ2		1・後	30	1			○					

授業科目等の概要

(芸術専門課程放送・映画科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			キャリアデザイン3	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・前	15	1	○							
○			キャリアデザイン4		2・後	15	1	○							
○			放送映画リテラシーD1	TV、映画にとどまらない作品研究を行い映像を学びます。	2・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーD2		2・後	15	1	○							
○			放送映画リテラシーE1	「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学びます。	2・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーE2		2・後	15	1	○							
○			放送映画リテラシーF1	映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリーなど構成と演出について学びます。	2・前	15	1	○							
○			放送映画リテラシーF2		2・後	15	1	○							
○			映像技術3	映像制作の応用技術を学びます。	2・前	30	2	○							
○			映像技術4	「作品を作る」という目的で、実践的に映像制作を学びます。	2・後	30	2	○							
○			放送映画演習3	各コースやテーマ別に実習を通して映像制作を行います。	2・前	240	8		△	○					

授業科目等の概要

(芸術専門課程放送・映画科) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			番組制作3	映像制作の応用技術を学びます。	2・前	60	2			○					
○			番組制作4		2・後	60	2			○					
		○	ワークショップ3	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	2・前	30	1			○					
		○	ワークショップ4		2・後	30	1			○					
		○	インターンシップ	企業が実施する研修に参加し、現場作業を体験します。	2・通	60	2			○					
		○	特別講義1	様々なジャンルの講師による特別講義を行います。	2・通	30	1			○					
		○	特別講義2		2・通	30	1			○					
○			卒業制作	2年間の集大成とし、映像作品または舞台の制作を行います。	2・後	270	9			○					
合計			43 科目			1980 単位時間 (83 単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業時に必修科目1740時間(73単位)取得すること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。